

事業実施主体一覧表

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
1	自然環境を守る取組	室戸市	特定非営利活動法人夢創房室戸迎鯨の杜	自然環境の保護と啓発など環境保全活動及び次代を担う子ども達に自然体験活動を通じて、大自然に親しみ共に生きていくという心や郷土愛を育み、自然や環境保全の重要性も再認識してもらう活動を行うことを目的として、8月と11月に室戸市の東の川で自然体験活動「リバーサイドフェスタ」を行った。また、今後の活動を支援するため、生き物図鑑ファイルやガイドブック（早見表）の作成をし、原本を完成させた。	388,227円	344,000円	一般事業
2	自然環境を守る取組	高知市	高知昆虫研究会	研究会の機関紙「げんせい」が100号の発行を迎えることを記念し、昆虫に関する知識の普及と新たな仲間を募ることを目的としたイベントを、12月、オーテピアで開催した。イベントでは、四国の昆虫に関する講演会と会員による標本展示を主な内容とし、会員以外も広く参加できるよう呼びかけ、参加者100名に、この「げんせい 第100号」を無料配布した。	776,319円	500,000円	一般事業
3	自然環境を守る取組	いの町	波川公民館	地域住民によって、2007年から、仁淀川・波川地区の河川敷の自然林を自然公園（波川木漏れ日公園）として整備する活動が続けられている。近年、多くのヒメボタルが見られるようになり、地域内外から人が訪れ、地元の小学校や子ども会も環境学習の場として利用している。本事業では、ヒメボタルの生息に適した環境を作り、その普及啓発を目的として、昆虫や植生の専門家の協力を得ながら、竹林の伐採や下草刈り、幼虫調査、観察会を実施した。	219,897円	219,000円	一般事業

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
4	自然環境を守る取組	いの町	とさ自由学校	学校裏にある森を教育活動の場として活用するため、専門家の助言・サポートを得て、子どもたちが主体となった地域住民と連携した里山づくりを実施した。今回は森や放置竹林の整備を中心に行い、その過程で地域住民との交流が深まり、子どもたちの自然への配慮も育まれた。今後は、整備に加え、自然に配慮した新たな遊具の設置や竹の有効活用を目指していく。	164,452 円	150,000 円	一般事業
5	自然環境を守る取組	四万十町	遠山を守る会	多数の絶滅危惧種を含む豊かな植物相を誇る「遠山自然公園」では、地域団体が、草刈りや野焼きなどの保全活動を行い、貴重な植物の生育環境を維持している。定期的に、観察会も開催し、自然保護の重要性を広め、地域住民や子供たちの郷土愛を育てている。今回、老朽化した湿原の観察道を環境に配慮した手法で整備し、安全に自然と触れ合える機会を提供、公園の利用促進を図る。また、地元小学生を対象にした観察会を行い、外来植物の駆除など、環境保全についても学ぶ。	561,210 円	500,000 円	一般事業
6	自然環境を守る取組	須崎市	特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター	横倉山とその周辺地域の生物調査報告書を、800 部発行し無料配布した。その報告書をウェブサイトでも公開した。また、小型哺乳類（コウモリ類、ネズミ類、モグラ類）の生息状況調査を、県内全域、特に情報が少ない地域 20 ヶ所で実施し、新しい生息状況を知ることができた。本事業で収集したデータは、研究紀要や学会等でも発表し、高知県の自然への関心を高め、生態系保全と人との共存を考える機会を提供していく。	505,813 円	500,000 円	一般事業

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
7	自然環境を守る取組	四万十町	公益社団法人 生態系トラスト協会	高知県の県鳥であるヤイロチョウの 60 周年を記念した一連のイベントを実施する。具体的には、営巣地の調査、ミミズや外来種の調査、植生調査、無人島調査、記念シンポジウム、アンケート調査などを実施し、ヤイロチョウの生態や保護に関する新たな知見や課題を明らかにする。	512,388 円	500,000 円	一般事業
8	自然環境を守る取組	須崎市	高知に自然史博物館をつくる会	高知県に標本を活用する自然史博物館を設立するため、博物館の具体的なイメージ資料を作成し、その必要性を訴え、県民に意見調査（アンケート調査）を実施した。県民からの回答数が一万件に達したら、最終集計を行い、民意として今後の活動に活用する。また、標本保管場所として、旧高校の教室が使えないか、環境の適性検査を実施し、廃校の利用活用について検討をした。	200,016 円	200,000 円	ステップアップ事業
9	自然環境を守る取組	高知市	土佐塾中学・高等学校 科学部	高知県の海岸に打ち上げられる微小貝の種類と海岸環境の関係を調査し、微小貝マップの作成と情報発信を行った。高校生が主体となり、興津小室の浜での微小貝の分類や、大岐の浜でのフィールドワークを実施した。学園祭や科学イベント等で「微小貝探しワークショップ」を行い、地域住民への啓発活動も展開した。	112,829 円	100,000 円	ステップアップ事業 (ジュニア枠)
10	自然環境を守る取組	南国市	南国市立長岡小学校	探究的な学習を通して、小学 5 年生の 2 クラスが地域の自然環境と産業について学んだ。体験学習から生まれた疑問をもとに、1 組は地域の自然を生かした産業を、2 組は地域の生き物や植物を探究した。専門家との交流や調査を通じて、児童は地域の魅力や課題への理解を深めた。今後、ビオトープの整備、学習成果の記念誌への掲載に取り組んでいく。	100,000 円	100,000 円	ステップアップ事業 (ジュニア枠)

番号	事業区分	市町村名	実施団体名	事業概要	実績		備考
					事業費	補助金額	
11	自然環境を守る取組	香美市	香美市こどもエコクラブ	奥物部の自然林での環境学習、物部川での水生生物調査、岸本海岸でのゴミ調査を中心に、環境学習やエコ学習を行った。1月には「香美市こどもエコクラブの15年間」の活動発表と大庭みゆき氏による「これからの環境活動に向けて」と題する講演会を実施し、これからの郷土の自然への関わり方を考えた。	100,441円	100,000円	ステップアップ事業 (ジュニア枠)
12	自然環境を守る取組	須崎市	ジнде池生物研究所	月一回の生物調査と冬季の保全活動セミナーを SNS や HP を通じて広く一般に告知し、参加を呼びかけて、活動の普及と拡大を目指した。セミナーでは、地元の小学校や地域住民と一緒に池の周辺の木々の伐採や池の生物調査を行うなど、連携も進んだ。生き物との触れ合いの楽しさや里山環境保全の重要性を伝える機会も増え、活動が地域に根付いてきたことを実感した。	97,698円	97,000円	ステップアップ事業 (ジュニア枠)
合計					3,738,227円	3,310,000円	—